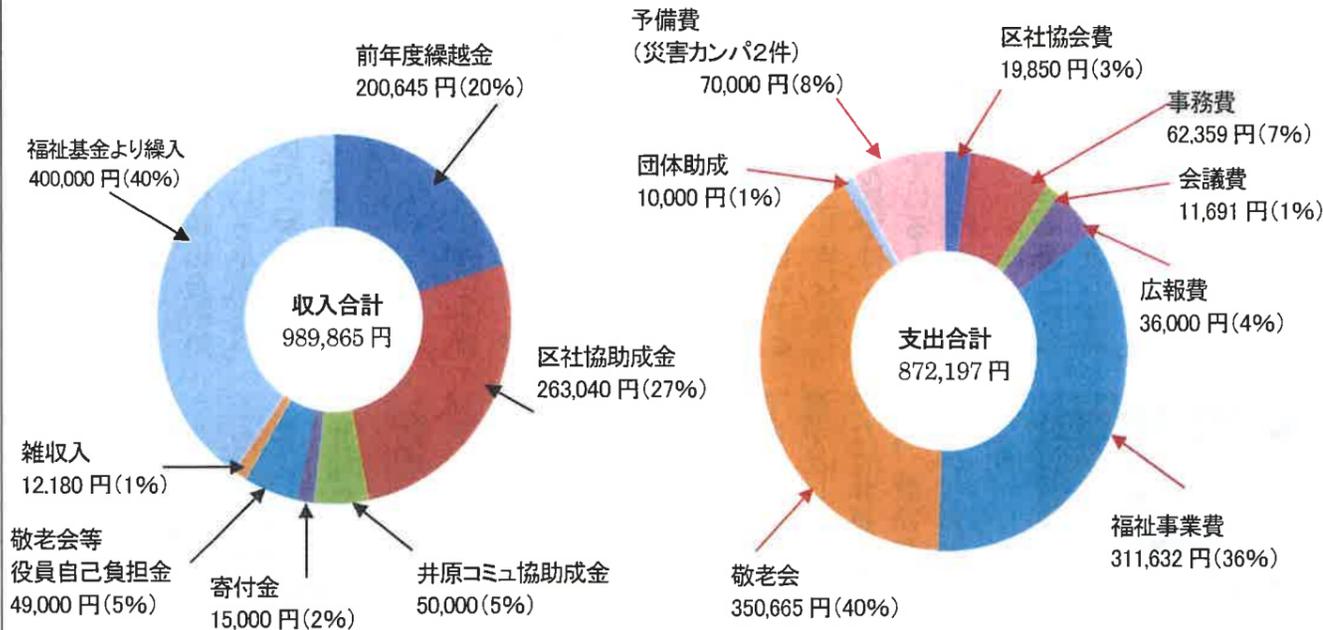


## 平成28年度 収支決算報告



- 会長(NPOマル愛代表) 沼崎洋三
- 副会長 山縣利典
- 副会長(福祉委員代表) 土肥 竜
- 副会長(民生児童委員代表) 堀元大二郎
- 副会長(自治連代表) 佐々木勝規
- 監査 加藤 治美
- 監査 中村 宣義
- 地域福祉推進委員 飯田 実
- 顧問 中川 康信
- 事務局長 奥 秀信
- 会計(一般) 佐々木正枝
- 会計(特別) 佐久間和枝
- 【理事】
- 「ミニ」協代表 佐々木 恒
- 体協代表 中野 康範
- 女性会代表 廣畑 澄子
- 老人クラブ連合会 代表 土井 道弘
- 青少年協代表 佐久間義輝
- 子ども会代表 中村 勉
- 公衛協代表 池岡 正康
- 自主防災代表 佐々木武紀
- 防犯組合代表 平岡 明彦

## 平成29年度 役員および理事・福祉委員

地区福祉委員の皆さんです。困ったときは、気軽に声を掛けてください。

- 甲田 市川 良子
- 小田 高橋 佐子
- 日詰 中川 進
- 戸石 中村 宣義
- 新宮 中山 君枝
- 迫田 光宗 美穂
- 沼 二宮 明子
- 中東 佐久間和枝
- 明神 神崎 真一
- 高瀬 丸川 利則
- 江地 佐高 三枝子
- 見張 土肥 竜
- 大寺上 谷川 啓治
- 大寺下 鳴戸 洋之
- 山根 渡辺 昭則
- 中市 宮本 昭南
- 中市 鳴谷 婦美子
- 上市一 石川 弘司
- 上市一 桂 慶子
- 【福祉協力員】
- 二宮 明子
- 有田 寿子

役員改選で印の方々が交代されました。前任者の皆様ありがとうございました。



『地域と子どものふれあい夏まつり』は、昔から続いていた井原盆踊り大会が行われなくなり、それぞれの地区別(例：新宮、日詰、上市黄組など)で何年か行われていたものを、やっぱり井原全体で、地域の宝である子供を中心にした夏祭りを復活させようという気運が盛り上がり各種団体の協力で始まったものです。毎年、暑さの中で大人たちが竹を揃え、やぐらを立て、出店や音響を準備して、メイン通りのJA井原支店前には立派な横断幕を掲げ、ポスターを全戸に配って当日を迎えます。

井原小学校児童による和太鼓やフラダンス、地域の同好団体の舞台に続き今年には東広島市出身の演歌歌手の歌声も会場を沸かせました。キャンドルナイトの文字は『花』。最後は豪華景品が当たるくじ引きで事故無く終了しました。

## いよいよ始まる 高齢者いきいき活動ポイント制度

70歳以上の高齢者の社会参加をより進めていくために始まる表記制度

9月1日現在で70歳になられた方に、スタンプ手帳が送られてきていると思います。

・清掃活動、見守り活動他のボランティア活動

・健康診断やがん検診受診

・健康づくり、介護予防活動

を行うと決められたポイントを手帳に押してもらい、一年間(9月1日)翌年の8月31日)で貯まったポイント数に応じて奨励金が各自の口座に振り込まれるものです。

1ポイントは百円に換算。上限はタクシーチケットやパスピー等の交通機関利用助成を受けた場合は7千円、受けられない場合1万円です。

井原地区でも、各自治会やいきいきサロン、体協や女性会、長寿会などが活動団体の登録を受けて準備されています。

常時スタンプ手帳を持って、積極的に諸活動に参加してポイントを貯めてください。健康で住み慣れた郷土でいきいきと暮らしましょう！



井原地区社会福祉協議会に対し、左記の皆様から香典返しとして、多額のご寄付をいただきました。皆様の地域福祉に対するご理解とご協力に厚くお礼を申し上げます、ここに報告いたします。

(平成29年1月～8月)

1月	上甲田	三木 泰典 様
2月	下甲田	市川 昇二 様
2月	沼	加美川 興二 様
2月	戸石	大道 正典 様
3月	戸石	森川 祭三 様
3月	江地	大下 伸之 様
4月	戸石	(故) 正木 弘明 様
6月	上市	埜 禎之 様
6月	山根	金羽 木良明 様
6月	大寺	池岡 典子 様
8月	新宮	中村 陽治 様
8月	戸石	中山 誠 様
8月	中市	上田 憲壯 様
8月	中市	中川 宣昭 様

あたたかい御厚志 ありがとうございます

「編集後記」

広島県に高温注意情報！熱中症に注意してください。い...の文字がテレビ画面にたびたび映し出された今年の夏。かと思えば、線状降水帯という魔物が暴れ回って列島各地に大きな被害をもたらしました。井原地区でも三篠川が氾濫警戒水位に迫り、一時避難を強いられた家庭もありました。どうぞ何事もなく実り多い秋を迎えたいものと祈る気持ちです。

来る9月18日は敬老祝賀会です。福祉委員を通じてのご招待案内や井原小学校児童からも可愛いハガキが届きますので、対象者の皆様には体調を整えてお出かけ下さいませ。楽しい企画でお待ちしております。



写真は佐々木様・古川様・槇野様・平元様・農林大坂様他多数の皆様のご厚意で掲載させて頂きました  
有難うございました

区内各所に貼られたポスター

井原どろリンピックを終えて

井原わくわくプロジェクト  
代表 中村 勉

去る7月23日に中東にある休耕田を利用して『井原どろリンピック』という地域イベントを行いました。安佐北区で「区の魅力と活力向上推進事業団体」として認可され『井原わくわくプロジェクト』を今年3月に発足して企画運営致しました。

プロジェクトのメンバーは井原に住む子育て世代が中心で、年々子供の数が減少し、今年度は井原小学校全学年が複式学級となり、若者の流出が止まらない現状を少しでも食い止められないだろうか、井原の自然豊かな魅力を活かしたイベントで井原に住む人をより元気に、外へ向けても井原を魅力的にアピールして新たな移住者へと繋がってほしい！という思いで団体を立ち上げる事としました。初めてとなった今回は、田んぼではよくある泥んこパレーではなく、見ている人も色々楽しめる企画として様々な競技を行うどろリンピックとしました。

多種目競技のためルール作りや準備にも大変な労力が要りましたが、そこは井原の地域性なのか井原パワー（井原を愛するエネルギー）でプロジェクトメンバーだけでなく子供や諸先輩方からも力を貸して頂き、事前に行ったプレ競技等で確認ができたのも大変恵まれた事でした。



プレイベントの様子を伝える新聞紙面

いざ、大会を迎えるにあたり一番心配したのは天候です。大雨による災害も他所事ではなかったし、天気が良すぎて高温による熱中症なども心配でしたが、当日は奇跡的に曇りで気温はそこまで上がりず雨も降らずという最高の天気で行う事ができました。（超ラッキー！）

活動のきっかけをくださった安佐北区の立岩区長を始め、町おこし推進課の皆様、井原地域でお世話になっている方々を来賓に迎え、また選手としては子供から年配者、井原在住者だけでなく井原に親交がある外部の方も含め15チーム、計75名と多くの参加者で、泥まみれになりました。



臨場感あふれる模様を撮影するドローン



競技は、台の上で棒を引っ張り合うものや、ビーチフラッグスならぬ田んぼフラッグス、障害物競争に一番ドロドロになった大玉ラグビー、最後には井原にちなんだクイズも行ってしっかり井原をアピールする事ができました。終了後、参加者からも観覧者からも「楽しかった。とても良かった!」という声を多数頂きメンバーも心地よい充実感を味わいました。こうして無事に成功できたのも、ひとえに興味に御賛同いただいた皆様方のご支援、スタッフ等で御協力くださった井原地区各種団体のお蔭と心から感謝を申し上げます。今後とも、井原地区の更なる魅力向上やPRのため、メンバー一同頑張っていく所存ですので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

尚、『井原どろリンピック』の様子は、井原夏祭りでも上映させて頂きましたが、ドローンで撮影（商工会青年部 渡辺哲司さん協力）した迫力ある動画がユーチューブで閲覧できる様にしております。是非ご覧下さい。『井原どろ』で検索できます。